



知性

健康

自主



校章のモチーフ しらね葵

《学校教育目標》

『優れた知性を持ち、健康で心豊かな たくましい生徒の育成』

寒河江市立陵西中学校 学校だより
2022. 12 月号 文責：校長 小野 行彦

今年度を振り返り、来年度へつなぐ生徒総会



12月7日に生徒136名の出席のもと、今年度最後の生徒総会が開催されました。今回の総会は「創る～未来を切り拓く陵西中生～」のスローガンの下行った、今年度の重点活動や各委員会活動を振り返り、成果や課題について全校生徒で協議する会議です。春先は、クラス代表者として全校生徒の前で発言する経験をあまりしたことのない一年生は緊張一杯の表情で参加していましたが、今回は発表のしかたやマスク越しの声の大きさも堂々となり、さらには的を得た内容で成長の大きさを感じました。2・3年生の中には、委員長の返答に対して納得がいかず、何度も質問する場面などもあり、白熱した討論も何度かありました。武力や威圧で決着を付けるのではなく、互いの思いや考えを、話し合いによってすすめる民主主義の基本を、学校の教育の場で体験できたのではないのでしょうか。これからも、活動や話し合いの場において、互いの意見を聞きながら対応力のあるコミュニケーション能力を身に付けていってほしいと思います。今年度の生徒会活動はまだ終了していません。今回出された課題については年度内の解決・改善に努めて、来年度へ向けて更なるステップアップを期待しているところです。

先輩として発表した「新入生オリエンテーション」



一昨年度まで3年生が中心に行っていた「新入生オリエンテーション」での学校紹介を、昨年度から1年生が担当するようになりました。年が離れていない6年生の気持ちになっての学校紹介は、学校生活を寸劇で表現したりICT機器を活用したりして、とても分かりやすい紹介でした。また、同じ小学校ごとの話し合いでは、中学生の先輩らしく優しく寄り添いながら温かい雰囲気での座談会になったようです。小学生たちは、きっと一つ違いの先輩の大きな変化と成長にさぞかしビックリしたことでしょう。



出身校の後輩との座談会。中学校への不安も少なくなったことでしょう。



授業の受け方、学校生活や行事を楽しく面白く紹介していて、笑いもある和んだ雰囲気で会が進んでいました。



○×クイズも分かりやすくパワーポイントを使って行いました。

令和5年度 生徒会役員決定



委員長の高子結衣さんを中心とした7名の選挙管理委員（右表の生徒）によって実施された令和4年度生徒会役員選挙。選挙告示の際には、民主的な選挙が行われるための4原則が示され、公正な選挙が行われました。その告示を受けて、今年度は生徒会長に2名、副会長に男女合わせて3名、議長・副議長ともに2名ずつの生徒が立候補し、計9名となりここ3年間では最多の立候補者数となる活発な選挙となりました。今年の選挙は、感染拡大予防の対策等のために、体育館で直接の立会演説会をせず、それぞれの教室で画面越しに立候補者と推薦者の演説を聞いての立会演説会としました。選挙の結果、当選者は以下の通りです。

選挙管理委員	
委員長	高子 結衣
副委員長	國井 夢叶
委員	伊藤 小晴
委員	木村 一惺
委員	渡邊 忠信
委員	佐藤みらい
委員	冨澤 佑真

生徒会四役

会長	大沼 昊紀
副会長	伊藤 萩大
副会長	奥山 華
議長	木村 悠華
副議長	菊地 琴巴



専門委員長

校紀委員会	小林 千夏
放送委員会	菖蒲 鳳介
図書委員会	渡邊 忠信
保健委員会	井上 叶夢
体育委員会	菊池 哲平
美化委員会	荒木 美彩
給食委員会	木村 颯人

事務局員

事務局長	工藤 由暉
事務局員	鈴木 彩寧
	阿部 大喜

専門委員長と事務局員は、生徒会長からの委嘱。

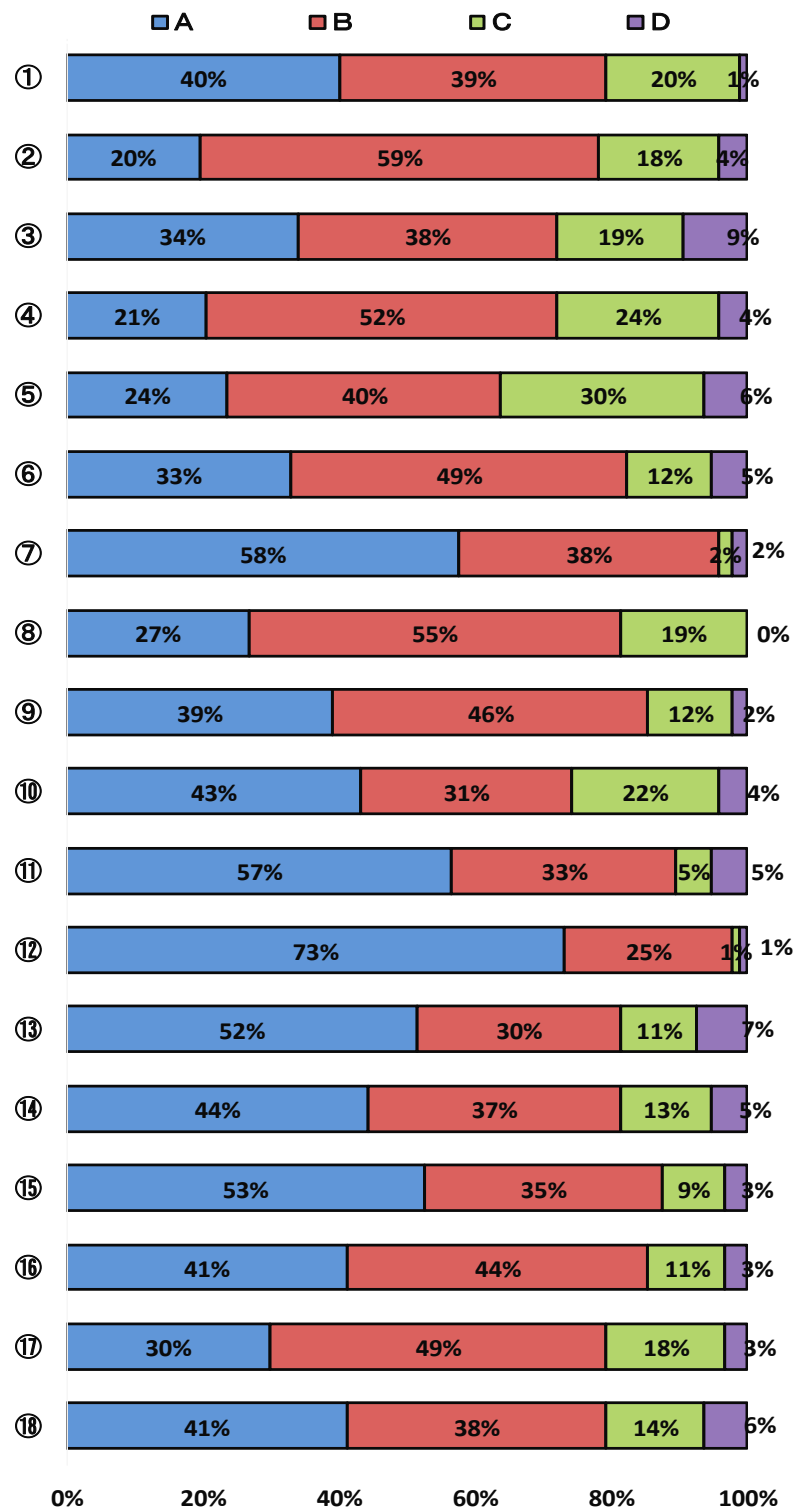


(12/14 全校朝会時の生徒会引継ぎ会)

令和4年度「学校評価(中期)」

生徒アンケートまとめ

学校生活等についてのアンケート		A+B (%)
1	学校に行くのは楽しいと思う。	79%
2	自分には良いところがあると思う。	78%
3	将来の夢や目標を持っている。	72%
4	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。	72%
5	大きな声であいさつをしている。	64%
6	「陵西五心」を意識した言動を心がけている。	82%
7	授業に、まじめに一生懸命取り組んでいる。	96%
8	授業は、楽しくてわかりやすい。	81%
9	家庭学習をきちんとし、宿題や予習・復習をしっかりとやっている。	86%
10	生徒会活動やボランティア活動に、積極的に参加している。	74%
11	部活動に意欲的に参加し、目標達成を目指して努力している。	90%
12	そうじにまじめに取り組んで、学校をきれいにしている。	98%
13	陵西タイム(朝読書の時間)に、楽しく本を読んでいる。	81%
14	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身につく、規則正しい生活ができています。	81%
15	先生方は、勉強面でがんばったことを適切に評価してくれる。	88%
16	先生方は、いじめや悩みなど困っていることについてよく対応してくれる。	86%
17	先生方とのふれあいを通して、信頼関係ができています。	79%
18	地域の活動に積極的に参加している。(地域のよさを理解している。)	79%



このアンケート結果を、本校教育の基本方針の大きな柱とする「生徒誰一人取り残さない指導の推進」等の学校づくりに対して生徒が評価したものと考えています。その結果、それぞれの項目で「4：よく当てはまる」「3：当てはまる」と答えている生徒の割合が80%以上の項目数が10項目、さらにあと少しで80%に達する項目を含めると14項目に達していることは、生徒から一定以上の評価があると考えています。また、昨年度来、大きな課題と捉えていた、1. 「学校に行くのは楽しいと思う」2. 「自分には良いところがあると思う」3. 「将来の夢や目標を持っている」の「当てはまる」以上と答えた数値が全学年で70%を超えたことも、好転の兆しが見えてきていると感じています。(前期は全学年ではありませんでした) 加えて、16. 「先生方は、いじめや悩みなど困っていることについてよく対応してくれる」で、86%の生徒がそう感じてくれていることも嬉しい結果です。しかし、14%の生徒がそうでないことには十分配慮する必要がありますし、マスク越しとはいえ、5. 「大きな声であいさつしている」が、60%程度は心配な面です。今後、さらに実態を精査しながら、「生徒誰一人取り残さない指導」に向けて学校運営及び、学年・学級経営や教科指導等に生かしていきたいと思えます。

個性が光る 生徒作品紹介



第四十二回全国中学生人権作文コンテスト山形県大会

優秀賞

「私の普通とみんなの普通」

伊藤さくら

みなさんのおじいちゃんのおい出は何ですか。私のおじいちゃんのおい出は、一生懸命に文字を書いてくれたことで、思い出といった一番の思い出は、あまりないと思う。みなさんは、どこかへ一緒に行ったり、一緒に遊んだことが思い出と言う人がほとんどだと思います。私のおじいちゃんはお目が見えませんが、障害者なのです。私が小さい頃は、おじいちゃんが障害者ということに全然気にしませんでした。障害者なのです。私が小さい頃はおじいちゃんや周りの友達に、このことがバレたくないと思うようになりました。なぜならおじいちゃんや周りの友達に、このことがバレたくないと思ってしまうのではないかと、一番は目が見えないだけで障害者と言われ、悪いイメージがついてしまうのではないかと、思ったからです。今の私は、隠したいと思った自分が少し憎いです。私の今の考え方は、みんなと違った個性のあるおじいちゃんと考えようになりました。

ところで、なぜ体が不自由な人は障害者と言われるのか考えたことはありますか。そもそも障がい者というのは、別表障がい者として書き、意味は心身に障害を抱えていて、他者からの支援を受けなければ日常生活に支障をきたすおそれのある十八歳以上の人のこと。

私はなぜ「がい」を「害」と表すのかが少しわかりません。少しずつ平仮名の表記も広がっているとも思いますが、ほとんどの人が漢字を使うでしょう。不自由な体の人自身も、自分にとって害と感じている人も少ないのではないのでしょうか。そして、周りの人に対して悪イメージをあたえているとも思えません。ただ一つの個性だけなのに、どうして悪いイメージがつくような呼び方なのか。私はこのような呼び方を変えていきたいと思っています。呼び方を変えるだけで、不自由な人、そうでない人が差別されず、関わりやすい環境を作れるのではないかと考えています。

私にはもう一つみなさんに考え直してほしいことがあります。先週私のおばあちゃんがスマホを買いました。本当はおじいちゃんも買う予定でしたが、家族の判断で買うことを止めました。私のおばあちゃんは八十歳なのでスマホを使うのも上手にいく心配でしたが、ガラ携帯の使用が終わってしまうので仕方なく買いました。その結果、まったく使えず毎日三時間ほど教えています。おじいちゃんもスマホに変えるのも時間の問題ですが、スマホを使いこなせるかは、そうとう不可能だと思います。ガラ携帯ならばタンがすべて、凹凸になっただけですが、スマホにはありません。携帯を使いこなすことが難しいことはしかたありませんが、すべての人を考えた物にしてほしいと思います。もっと生きやすい世の中を作ってほしいと思うのです。

私が一番伝えたいのは、障害者という言葉で悪いイメージに感じるのではなく、みなさんにもあるように、一つの個性と捉えてほしいと思います。なぜなら、もちろん不自由な本人も大変だし、私と同じように周りの家族も嫌な思いをするかもしれないからです。ですから、みなさんも不自由な人もみんな生きやすい世の中をつくることに協力してほしいです。私の大好きなおじいちゃんや不自由な人、その家族も助けたいのです。

表彰報告

○第12回「大山賞」小中学生絵画コンクール

〔佳作〕 飯野 彩花 「学校から見える風景」
伊藤 俊輔 「少し前の思い出」

○令和4年度全国読書感想文・感想画コンクール

西村山地区審査会
〔表彰〕 工藤 日菜
布川 未歩
國井 夢叶



○山形県文集コンクール

〔最優秀賞〕
しらね葵
(学校文集)



My弁当(自分で作りました)



小林 千夏

武田 華凛

佐藤 颯風

高橋 莉瑠

閉庁期間の緊急連絡先(学校携帯)
09073368127

令和五年一月の主な予定

日	曜	計画等
12/29~1/4		学校閉庁
6	金	始業式 課題テスト
9	月	成人の日
10	火	書初め大会 課題テスト
11	水	入試激励会
23	月	定例職員会議
26	木	専門委員会